

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0034-0810, サービス名称: 建設サイト・シリーズ, 事業者名称: 株式会社MCデータプラス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2017年8月21日
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 株式会社MCデータプラス
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 2015
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 2年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須
	事業所数(国内、国外)		国内: 1	
	主な事業所の所在地		東京	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 建設業向けに日々の施工管理・労務管理を支援するクラウドサービスの展開を行う他、データ活用事業など。
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 秋山 光輝
			代表者写真	選択 記述有り(*)
			代表者年齢	選択 記述有り(*)
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択 記述有り(*)
7	役員	役員数	選択 記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名	選択 記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 記述有り(*)
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 ¥1,567,516,550 (自平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 記述有り(*)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 ¥309,706,800
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述有り(*)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 記述有り(*)
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択 記述有り(*)
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0034-0810, サービス名称: 建設サイト・シリーズ, 事業者名称: 株式会社MCデータプラス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	記述有り(*)
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	記述有り(*)
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	記述有り(*)
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	記述有り(*)
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	記述有り(*)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	記述有り(*)
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	情報セキュリティ基本規程
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	記述有り(*)
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		記述有り(*)
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	有り リスク管理基本規定
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
- サービス基本特性					
27	サービス内容	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	建設サイト・シリーズ
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2000年12月18日
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		<大きなリニューアル: サービス追加> 2005年11月1日、2006年4月1日、2007年7月1日、2008年4月1日、2008年6月1日 <バージョンアップ> 2006年6月、2006年8月、2006年7月、2006年12月、2007年1月、2007年3月、2007年4月、2007年6月、2007年9月、2007年12月、2008年3月、2008年6月、2008年7月、2008年9月、2009年1月、2009年4月、2009年7月、2009年8月、2009年9月、2009年11月、2010年2月、2010年6月、2010年9月、2010年12月、2011年3月、2011年6月、2011年12月、2012年3月、2012年6月、2012年10月、2013年3月、2013年6月、2013年10月、2014年3月、2014年6月、2014年10月、2015年2月、2015年3月、2015年7月、2016年3月、2016年5月、2016年11月、2017年3月、2017年6月、2017年7月
29		サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	建設サイト・シリーズは、建設業に於ける施主・元請建設会社・協力会社などの中での情報共有を加速し、業務の効率化を実現する建設業に特化した総合的なASPサービスです。グループウェア機能及びファイル共有機能を持つ「建設サイト」、現場の労務安全管理を支援する「グリーンサイト」、大判図面のネット印刷サービス「プリントサイト」等が主なサービスメニューとなります。2000年のサービス開始以降、日本全国で数万の建設作業現場での利用実績があり、大成建設、清水建設、鹿島建設、大林組、ダイワハウス、関電工の他、4万社を超える協力会社様にご利用いただいております。	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0034-0810, サービス名称: 建設サイト・シリーズ, 事業者名称: 株式会社MCデータプラス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
31	サービスのカスタマイズ範囲	他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 ＜前記述と合わせて500字以内で記述＞	必須	900万点を超える現場用品・用具や事務用品など、通常間接品(MRO)を取り揃える、日本最大級のインターネット通信販売サービスMonotaRO.comと連携しており、簡単に資材購入が可能です。また大口ユーザーとは、専用線を用い建設サイト・シリーズと社内システムを連携させた実績も豊富です。
		アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) ＜200字以内で記述＞		ユーザーの認証、企業情報・建設作業員情報といった、「建設サイト・シリーズ」で共通して利用される機能を除き、柔軟にカスタマイズをお受けしています。
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	1ヶ月前
		告知方法		書面による通知
33	サービスの変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	無し
		基本方針に沿った具体的なユーザーへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無し
		契約終了時の情報資産(ユーザーデータ等)の返却責任の有無		無し 但しバックアップ処理サービスにより、有償にて登録データのバックアップを取得すること可能です。
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有り 通常の苦情等の窓口と同じ。名称: 建設サイトヘルプデスク 受付時間: 月曜～金曜 9:00～17:00 (土日祝日を除く)
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	システム利用者のそれぞれの立場で、課金方法が異なります。以下の通り。 協力会社: 事前申し込みの上、申込ID数の範囲内で利用可能。10ID月額1,000円単位。 元請会社: 原則事前申し込みの数量内での利用であるが、契約体系に依っては固定数量を越えた分につき後払い方式を認めています。
		固定部分の課金方法		協力会社の立場でご利用の場合は、1ID月額4,800円(税抜)からお申込み頂けます。
36	サービス料金	初期費用額	必須	・ユーザーID初期設定料金(協力会社・元請共通) 10,000円(税抜)/社 ・プロジェクト初期設定料金(元請のみ) 300,000円(税抜)
		月額利用額		項番35に加え、元請会社(オーナー)はご利用のサービス毎に以下の料金(月額)がございます。(主なもののみ。詳細はお問い合わせ下さい。) 建設サイトファイル管理利用料: 2,000円/プロジェクト(ファイル容量により従量料金) グリーンサイト利用料: 4,000円/プロジェクト 通門管理機能オプション利用料: 50,000円/プロジェクト
		最低利用契約期間		1年間
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザー側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有り 協力会社: 支払い済み利用料の未使用分相当の違約金 元請会社(オーナー): 1年間分の利用料相当の違約金他
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前か)を記述	必須	元請会社(オーナー): 1年前

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0034-0810, サービス名称: 建設サイト・シリーズ, 事業者名称: 株式会社MCデータプラス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	99.9%(直近1年間(2016年8月~2017年7月)の実績値)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン2 99%
		サービス停止の事故歴		1回(直近1年間2016年8月~2017年7月)2016年10月4日(火)22時18分、弊社インターネット接続サービスのDNSで障害が発生し、建設サイト内から外部への名前解決ができない状態が25分続いた。
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	記述有り(*)
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	記述有り(*)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	有り ASPユーザー利用約款、建設サイトプライバシーポリシー(https://www.gnet3.jp/privacy.html)に規定しております。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述有り(*)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述有り(*)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	アプリケーションは更新毎、データは日次
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	アプリケーション:1世代 データ:1世代以上
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述有り(*)
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSIに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述有り(*)
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	「建設サイト シリーズ」では、SLAは提供していませんが、安定したシステムサービスの提供実績を積み重ねることで、本邦建設業界で最大級の利用実績を得、現在も約1万現場にてご利用いただいております。
49	サービス利用量	利用者数	選択	記述有り(*)
50		代理店数	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0034-0810, サービス名称: 建設サイト・シリーズ, 事業者名称: 株式会社MCデータプラス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	建設業向け情報共有システム 労務安全書類作成提出管理システム 入退場管理システム 作業調整管理システム 安全日誌作成管理システム Webカメラシステム
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	現場毎に施主・元請・協力会社といった構成メンバーが変化する建設業界にて、協力会社側の元請登録、元請側の協力会社招待機能により、都度のプロジェクト組成でも柔軟に情報共有が実現出来る基盤システム。 招待時の立場毎のアクセス権限設定が出来、掲示板、スケジュール、ファイル共有(版管理、新着通知、ワークフロー)等の現場向け基本機能は勿論、元請の本支店管理者が管轄現場を一括把握できるエンタープライズ機能も充実。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	提供事業者の名称 株式会社MCデータプラス(申請者に同じ)
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称 記述有り(*)
			選択	標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否 記述有り(*)
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	サーバ:90秒 情報セキュリティ対策機器:90秒 通信機器:90秒 障害時の利用者への通知時間
		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	障害監視の有無 サービス提供に関わる障害時:30分以内にログイン画面他にて告知します。
55		時刻同期	必須	システムの時刻同期方法 NTPサーバーによる同期を行います。
56		ウイルスチェック	必須○	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間) ユーザーよりアップロードされるファイルに対してウイルスチェック対処有り、ウイルス感染ファイルは自動的に削除します。 パターンファイル更新間隔は24時間以内です。
57		記録(ログ等)	必須○	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間 ログ取得:利用状況、ユーザー管理者操作、リモートアクセスについてのログ取得有り。 保存期間:5年間
58		セキュリティパッチ管理	必須○	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間) 随時(アプリケーションへの影響を開発環境で事前確認後適用。影響確認作業着手は通常パッチリリースの翌日。)
59				
- ネットワーク				
60	回線	推奨回線	必須	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類 インターネット回線
			必須	ユーザー接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲 弊社データセンターとお客様間のインターネット回線・専用線については、弊社は責任を負っておりません。
61		推奨帯域	必須	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲 特に無し
62		推奨端末	必須	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等 Windows 7 SP1以上 32/64bit版 Windows 8.1 32/64bit版 Windows 10 32/64bit版
			必須	利用するブラウザの種類 Microsoft Internet Explorer 11
63		ファイアウォール設置等	必須○	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無 有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0034-0810, サービス名称: 建設サイト・シリーズ, 事業者名称: 株式会社MCデータプラス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
64	セキュリティ	不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須 有り(IDS導入済み)
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択 記述有り(*)
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○ 有り。 定期的なパスワード変更を推奨しております。
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○ ID・パスワードによる認証を行っております。
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○ 有り ISMS実務基準による厳格な管理を行っております。
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須 有り 認証局が発行する証明書により、弊社サービスのなりすましを防止しております。
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択 記述有り(*)
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須 データセンター仕様で、一部オフィスとしても使用可能です。
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例: 関東、東北))	必須 日本・関東
73		耐震・免震構造	耐震数値 免震構造や制震構造の有無	必須 気象庁震度階6~7での建物への最大加速度1000gaに対し、1.3~2.2倍の耐震強度がございます。 制震設計(電子計算機システム安全対策基準(昭和58年施行)に適合)
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須 有り 最大負荷10分。その間に非常用電源が稼働いたします。
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須 2ルート以上の確保有り
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須 自家発電装置有り 燃料の補給無しで、最大負荷12時間となります。 定期的な動作試験も実施しております。
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須 有り ガス系消火設備(ハロンガス)
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須 有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須 ビルに避雷針有り
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須 無し
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択 記述有り(*)
			入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	有り 最低1年間保存

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0034-0810, サービス名称: 建設サイト・シリーズ, 事業者名称: 株式会社MCデータプラス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	有り 稼働時間: 24時間 最低1年間保管
				無し
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	有り
		保管管理手順書の有無		無し
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	記述有り(*)
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	03-5908-3130 となります。
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		代理店はありません。 ご利用を希望される場合は、新規申込みサポートデスク(03-5908-3416)にお問い合わせ下さい。
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	月～金 9時～5時 年末年始、祝祭日を除く
		メンテナンス実施時間		特に定めてはおりません。
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	記述有り(*)
		放棄率の実績値(単位: %)		記述有り(*)
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		記述無し(*)
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		記述無し(*)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	利用申込み、操作教育、改善要望受付などになります。 建設現場での運用方法などは、元請会社(オーナー)側のヘルプデスクとも密に連携を取り、継ぎ目のないユーザーサポートを目指しております。
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話のみとなります。
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	ハードウェア機器については冗長化を行い、負荷分散しております。
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	ASPユーザー利用約款及びASPオーナー利用契約書に規定がございます。
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期(1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	遅くとも15日前までに行います。 また出来る限り、ご利用に影響がない日程を、お客様と事前調整しております。
		告知方法		ログイン画面への掲示等にて告知いたします。またヘルプデスクでもご案内いたします。
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り 障害等、緊急対応時に行うことはございます。
92		障害・災害発生時の通知	必須○	有り 但し、ユーザーに影響の無い障害は除きます。
93		定期報告	必須	有り 利用ID数、プロジェクト数、ディスク容量など、利用料の基礎となる数値について、ご報告いたします。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。